

令和2年第4回 臨時会 蓮田市教育委員会会議録

招集年月日	令和2年7月9日	開会場所	蓮田市役所303・304会議室			
開会の日時 及び宣告者	令和2年7月9日 午後3時 教育長 西山通夫					
教育長	蓮田市教育委員会教育長 西山通夫					
招集状況 及び出席状況	席次	氏名	備考	席次	氏名	備考
	1	西山通夫	出席	4	塚本聖子	出席
	2	飯野和之	出席	5	渡邊陽子	出席
	3	増田孝	出席	書記	岩崎恵美	
議事参与者	<p>学校教育部長 増田勝弘</p> <p>教育総務課長 鈴木聖雄</p> <p>学校教育課長 高月章浩</p>					
傍聴者	10名					

会議の進行状況・顛末

開 議 令和2年7月9日 午後3時

西山教育長、開会を宣言する。

西山教育長 本日の会議では「令和3年度使用中学校用教科用図書の採択について」を協議します。傍聴希望者が10名ですが、許可してよいか伺います。

全委員承認

また、教科用図書の採択に関し、公開、非公開の協議がなされた。その結果、意見交換の場は公開、最終的な意見のまとめの場については非公開とし、最終的な結果は後日公開することとなった。

西山教育長 それでは、傍聴を許可します。

傍聴者入室

議 事

西山教育長 令和3年度使用中学校用教科用図書の採択について協議いたします。協議に先立ちまして、請願及び一般等のアンケートの確認をお願いします。

黒川指導主事 請願等の写し一部を、教育委員の皆様事前に御渡ししてございますが、今一度、受理状況を読み上げますので、ご確認をお願いいたします。
埼玉教育フォーラム共同代表より。以上です。

西山教育長 続いて、教科書展示会におけるアンケートについての説明を事務局からお願いいたします。

黒川指導主事 本年度は第23採択地区の教科書展示会は宮代町立笠原小学校で開催いたしました。会場には期間中に約300名が来場しました。アンケートにつきましては、資料としてお示しした通りでございます。

西山教育長 それでは協議に移ります。これまで多くの時間を研究に費やし、各教科の研究専門委員より調査結果の説明をいただきました。これらを踏まえて、意見、感想、事務局への質問等、議論してまいります。
まず初めに国語から始めたいと思います。

飯野委員 私は三省堂の教科書が良いと思います。読み物が多く取り上げられていて内容が充実しているかなと思います。

増田委員 三省堂の教科書では、日常生活の場面を想定して話し合い活動を系統的に位置づけ、生徒同士が言葉を通じて伝え合う力を育むような構成になっているところがとても良かったと思います。

渡邊委員 教育出版は、巻末にある折り込みの「表現に役立つ言葉」のコーナーが、自分の考えを表現するときとても役立つと思います。

具体的な文型が場面ごとに示されていて、他の教科ともつなげながら表現力を豊かにすることができると感じました。

塚本委員 光村図書の教科書がバランスの良い構成になっており、1年間を通して指導がしやすいと思います。特に年度当初の単元が新年度のスタートにふさわしい題材だと感じました。

西山教育長 光村図書のバランスが良かったということですね。

飯野委員 光村図書の良い点は、物語教材など、読む力を育成するだけではなく、生徒の心の成長も促す文章が多く掲載されていると感じました。

西山教育長 私も見ましたが、光村図書がやや優れているのかなと思いました。

教科書や授業の中だけで終わることなく、生徒自ら学習した内容を整理したり、発信したりすることで、身に付けた力を強化し、生きる力に変えていけるような工夫がされているのかなと感じました。事務局から何かあれば、お願いします。

黒川指導主事 まず三省堂の教科書ですが、単元ごとに「読み方を学ぼう」という項目を設け、学習した内容を今後他の学習や読書につなげる活動を設定し、年間を通してより多くの技能が身につくように工夫がされています。

次に教育出版の教科書ですが、「学びナビ」のコーナーに、教材を読み深めるための手立てが示されており、学習する前に確認することで、教材に対する理解がさらに深まる工夫がされています。

次に光村図書の教科書ですが、古典の教材数が最も多く設定されており、生徒に学習内容が確実に定着するようになっております。また、教科書の中のQRコードが示された箇所には、対談・話し合いなどの動画資料や作家へのインタビューなど、生徒の興味・関心を高める資料が豊富にあります。以上でございます。

西山教育長 今回はQRコードが目についたと感じました。どの教科書も目についたのですが、光村図書が多かったと感じました。それでは次に、書写の教科書について協議を行います。

増田委員 東京書籍の教科書では、「書写活用ブック」というのがありますが、常用漢字表を楷書と行書を並べて示し、生活の中で文字を書くときの参考にしやすい資料になっているのかなと思います。また、手紙の書き方やレポートの作成など、中学校を卒業した後にも非常に役立つ内容がまとめられていると思っています。

塚本委員 教育出版は多種多様な資料が収められていまして、生徒の興味関心を高めるつくりになっていたと思います。また、横幅21cmほどに大判化されておりまして、とても見やすいと感じました。

飯野委員 私も教育出版の教科書は良いところがたくさんあると思いました。毛筆では、基本的な点画のほか、題字ごとに筆順や穂先の動きを濃淡のある朱墨でわかりやすく示していると感じました。また、硬筆で試し書きをしてから毛筆での書き方を学ばせる流れも、工夫されていると思いました。

西山教育長 私は「学習を生かして書く」という硬筆教材を使って、毛筆と硬筆の関連を図りながら、そして毛筆で学習したことを他の文字に生かしていこうと意識している教育出版の教科書はなかなか良かったと感じました。いかがでしょうか。

渡邊委員 光村図書は、模範の文字が半紙大になっていて、生徒が取り組みやすい工夫がされていると感じました。また、生活の中の書写という発想で構成されている部分が随所にみられて、日本文化が生徒の生活に溶け込めるように配慮されていると思いました。

増田委員 光村図書の教科書ですが、行書の指導の中で、漢字の部分ごとの書き方が丁寧に説明されていると思います。各点画の筆づかいを写真で示している点が、とてもいいと思っております。

西山教育長 ありがとうございます。では事務局から何かあればお願いします。

黒川指導主事 まず東京書籍の教科書ですが、「始筆・送筆・終筆」を「とん・すう・びたつ」という音で表現し、生徒に運筆のイメージを感覚的に持たせられるような工夫がされているのが特徴かと思われます。

次に教育出版の教科書ですが、巻末に「書き初め」「書式の教室」「補充教材集」のコーナーが設定されておりまして、随所に文字や書に関するコラム的資料を写真や図と詳細な解説により掲載したりする工夫がみられます。

次に光村図書の教科書ですが、身の回りの文字に着目し、字体や書体から受ける印象の違いから、効果的な文字について考えられるように工夫がされておりました。以上でございます。

西山教育長 ありがとうございます。ここまで国語と書写について話し合ってきましたが、それぞれの意見があったと思います。それぞれの意見を念頭においていただいて後の投票の際に参考にしていただければと思います。よろしく願いいたします。続いて、社会の教科書について協議を行います。社会科は、地理、歴史、公民、地図と4つありましたが、まず初めに地理の教科書からご意見をいただきたいと思います。

飯野委員 東京書籍の教科書が使いやすいと思いました。他分野との関連する資料や特設ページに「分野関連マーク」が設定されていて、関連がわかりやすく、三分野の系統的な指導がしやすいと思います。

渡邊委員 私も東京書籍は「学習の課題」が明確に示されていて、学習の終わりに「チェック」「トライ」と二段階の問いで学習課題を解決できるよう、見開き1ページの学習内容が構造化されていて良いと思いました。

西山教育長 私も東京書籍の教科書が良いと感じました。「探求のステップ」があるのですが、単元全体の学習内容を振り返って整理するかたちになっていました。本文ページの学習の積み重ねを「探求課題の解決」へつなげられるような工夫があったと思います。そういう点は良かったと思いました。

増田委員 教育出版の教科書の良い点として、地図やグラフ、絵など様々な資料を読み取って考察することで、地理的な見方や考え方を働かせて思考力、判断力、表現力等を育成することができ、とても工夫されていて良かったと思います。

塚本委員 帝国書院の教科書では、「技能をみがく」コーナーが多数設けられており、地図帳や写真、グラフなどの資料の読み取り方がわかりやすくなっていました。

渡邊委員 私も帝国書院はわかりやすいと思いました。世界の各州、日本の各地方の自然、生活、文化、産業がバランスよく扱われていて、内容構成がよく考えられていると感じました。

西山教育長 東京書籍、教育出版及び帝国書院ですが、非常にSDGsを大事に書いていると思いました。今までは、ここまでSDGsを取り扱っていることがありませんでしたので、その部分が新しいと思いました。事務局から何かありますか。

黒川指導主事 地理の教科書の中で、「地域調査の手法」で取り上げている内容を比較しますと、東京書籍は防災について、教育出版は自然災害について、帝国書院は人口と農業について、日本文教は自然と防災・交通と観光について取り上げています。

帝国書院が災害について取り上げていない点については、今向きとしていかなものかと感じます。

次に、北方領土・竹島等の領土に関する記述についてですが、帝国書院と日本文教が、歴史的な変遷も含めかなり詳細に取り扱っておりました。それに対しまして、東京書籍と教育出版は必要最低限の説明に留めている点に各社の違いがございました。以上でございます。

西山教育長 今、北方領土・竹島の関係については大事なところですので、投票の時に視野に入れていただければと思います。

続いて歴史の教科書について話を進めたいと思います。まず学び舎の新しくなった教科書『ともに学ぶ人間の歴史』の見本本が各教員に届いていないという状況です。なので県の資料で研究をしていただくという形をとらせていただきました。大変申し訳なかったのですが、この県の資料を踏まえながら話をいただければと思います。前回の学習指導要領もですが、今回の学習指導要領の改訂にあたって、要点には入ってはいませんが、前回で取り上げられていた「近現代学習の一層の重視」、これを引き続き取り組んでいく課題として挙げて、近現代学習を非常に重視しているところが今回の歴史のひとつの特徴かと思っています。共通しているのは、どの教科書も約100ページを「近代の日本と世界」に費やしていることです。さらに、今回の学習指導要領改訂の要点の1番に「歴史について考察する力や説明する力の育成の重視」が挙げられていま

す。事務局にその観点から話を聞きたいのですが、各時代を大観して、時代の特色やそれらを含めて多面的・多角的に考察して表現できるようになっている工夫は今回の教科書についてはどうですか。

黒川指導主事 今回の学習指導要領改訂では、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と目標とする資質・能力の育成のために、教科ならではの見方・考え方を働かせて深い学びを実現していくことが大変重視されています。

歴史的な見方・考え方としては、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどの視点があり、各教科書で視点や考え方を分かりやすく紹介するなどの工夫がみられております。

例えば東京書籍では、単元を貫く問いである「探求課題」と、節ごとの課題である「探求のステップ」、1時間単位の学習の目当てである「学習課題」の3段階の問いで学びを構造化していて、各章のまとめの学習のページで確実に解決につなげられるような工夫がみられます。

教育出版は、各章の章末に、キーワードや資料などから時代の特色を言葉で説明する活動が設けられています。

帝国書院は、「章の学習を振り返ろう」というページを章末に設け、考えを整理し、話し合い、説明することで学びが深められるといった工夫がみられます。

山川出版は、章末の「まとめ」で、時代全体を俯瞰して考えるための問いかけがあり、考えを深められるような工夫がみられます。

日本文教は、章末に習得した知識を関連させ、時代の特色を考え、説明したり、話し合いや意見交換したりする学習活動が設けられています。

育鵬社は、章末「学習のまとめ」で、時代の特色を自分の言葉や図で表現する学習活動を設けるといった工夫がみられます。以上でございます。

西山教育長 各社で工夫がされているということですね。それらも含めながら何かご意見等ありますか。

塚本委員 歴史の学習の中心は「我が国の歴史の大きな流れ」を、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させることが最も大切なことだと思います。

渡邊委員 「世界の歴史を背景に」という点については、今回の改定の要点で「我が国の歴史の背景となる世界の歴史の扱い」を一層充実させるとありました。

今回の教科書では、各教科書で扱い方等に若干違いが見られたと感じましたが、いかがでしょうか。

西山教育長 「我が国の歴史の背景となる世界の歴史」のページ数を見ますと、県の資料に出っていますが、教科書会社によって大きな差が見られるのが特徴だと思います。一番少ないのは育鵬社の30ページでした。「このころ世界は」というページで、世界の歴史にふれていますが、他と比較すると世界の歴史の扱いは不足していると思っています。その分、他の部分を扱っていると捉えていいと思っております。

多くの教科書会社は50ページ前後費やしていると思います。多い会社については、山川出版がありますが、山川出版の教科書は「流れをつかむ」とか「歴史を考える」とか、あるいは「世界史を知る」という3つのポイントで構成されていまして、高校の教科書を作ってきたという歴史もあり、各ページで世界史との関わりが非常に触れられていることが特徴だと思います。世界史も含めた歴史全体の流れがつかめるように工夫されています。世界史も含め豊富な資料が掲載されているとも言えますが、今回の学習指導要領改訂の要点である、学習のねらいを明確にする。また、学習指導要領改訂の要点になっていますアクティブ・ラーニングも含め、学習のねらいを明確にするということは、学習の際に扱うべき歴史的事象が広がりますので、精選を図るということでも、情報量が非常に多いと精選しきれないものと思っております。ここが山川出版については難しい部分かと思っております。

各単元でバランスよく世界の歴史を扱っているものとしては、東京書籍、教育出版、日本文教かと思っております。その中でも、東京書籍は、各章の単元の導入のページに、必ず背景となる世界の歴史の視点を明記していて、単元全体の学びの中に、世界の歴史との関連づけを図っているというのが特徴だと思います。同時に、学習指導要領改訂の

要点は、歴史的分野の学習の構造化と焦点化ということがポイントになっています。それらをふまえて、単元の学習内容と学習過程が構造的に分かりやすくなっている教科書がいいかと思っております。小学校の社会は、地理、歴史と分かれています。ひとつのものから中学校では地・歴・公民と3つに分かれます。小学校からの学習の継続という観点からすると、東京書籍はその点の配慮があり、3分野の関連がわかりやすく整理されているところが評価できると思っております。

塚本委員 学習指導要領の内容の取扱いの中にも、小学校での学習を踏まえたり、人々の生活、生活に根ざした伝統・文化に着目した取扱いを工夫したりすることなどが大切だと書かれています。

飯野委員 小学校の学習で歴史の人物を多く扱ってきましたが、今回の教科書を見ても取り上げている歴史上の人物にかなりの違いがあったように思えます。

それぞれの教科書会社の基本理念にも通じることかと思いますが、例えば帝国書院においては、江戸末期に活躍した鍋島直正や村田清風、調所広郷など各藩の藩主や藩士を取り扱っていますし、育鵬社では、日露戦争で活躍した乃木希典などを取り上げています。単に数が多い少ないでは判断できないところだとは思いますが、教科書による扱いの違いを感じました。

西山教育長 帝国書院は、各藩主や藩士、例えば調所広郷などが扱われていますし、育鵬社では乃木希典を扱っていましたし、人物についての扱いは非常に面白いと思いました。

増田委員 人物の取り上げという視点では、以前、埼玉の偉人渋沢栄一を取り上げていたのですが、全体の教科書を通していかがでしょうか。

西山教育長 今回は全ての教科書で取り上げられていて、それが今回の特徴かと思っております。他にはいかがでしょうか。

渡邊委員 歴史上の人物を学習する上で大切なことは、単に人物の名前を覚えるのではなく、その人物が果たした役割や生き方などを、時代的背景や地域と関連付けながら理解させることなので、活躍や功績だけでなく、その人物の生き方で言及しているものが良いのではないかと思います。

西山教育長 他に何か気づかれたことはありますか。

塚本委員 選挙権の年齢引き下げに伴い、主権者教育の重要性がよく言われておりますが、その点では何か違いや工夫は見られますか。

西山教育長 事務局、それについて何かありますか。

黒川指導主事 今のご質問なのですが、公民的分野との関連にもなっておりますが、教科書会社によって工夫の仕方が違っておりました。

東京書籍は、教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら歴史学習ができるように工夫されておりました。また、「みんなでチャレンジ」というコーナーを各単元に設け、対話的な学習で、持続可能な社会の実現に向けて構想し、積極的に社会参画したり、他者と協働したりしながら、よりよい社会を築こうとする意識や態度を養えるようにしてあります。日本文教は、現代の課題の背景や人権、環境、平和、防災、減災への先人の取り組みを学び、解決の手立てについて生徒が歴史を踏まえて考えることができるように工夫されております。

帝国書院は、社会に見られた課題に対する当時の様々な立場や選択を通して考察し、様々な立場と多様性を踏まえた社会の成長を構想することを促すように工夫されております。

教育出版は、巻末に、歴史を振り返って、未来を構想しようというページを設けております。これからの社会を築いていくために、自分たちに何ができるかを考察・構想し、社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように工夫がみられました。以上でございます。

飯野委員 今回の歴史教科書を見させていただいて、一番大きな違いを感じたのは、「近代の日本と世界」という単元の扱いです。

日本のアジア進出を「侵略」と明記している教科書と、育鵬社のように、アジアの国々

を欧米による植民地支配から解放する自存自衛のための闘いであったという戦争の大義名分を前面に記述しているようなところもあります。

西山教育長 歴史的分野の目標の1つに、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期あるいは推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に特に議論したりする力を養うというのが歴史的分野の目標のひとつに掲げられているところです。これらのことを踏まえると、「近代の日本と世界」であっても、やはり事象が確実で、歴史的背景がはっきりしているものをきちんと扱うということがとても大事で、不確定な事象を断定的な記述で扱うというのは非常に難しいと思っています。一面的な見解で十分な配慮もなく取り上げることは、生徒にとっては、純粋な歴史理解を妨げることになるのではないかと考えております。そういう部分では、色々な会社の歴史教科書がありますが、慎重に扱わないと非常に難しいと思って見させていただきました。

渡邊委員 もう一つ大事な観点として、今求められている学習形態で、蓮田市教育委員会でも挙げているアクティブ・ラーニングと主体的・対話的で深い学びとがあります。今回の教科書ではどうなのでしょう。

西山教育長 教科書会社によって、かなりその部分については、捉え方も違いますし、バラつきがあるのですが、東京書籍では、各章末の「まとめの活動」で、思考を整理するツールを豊富に紹介していて、様々な学習形態を取り入れています。チャートを作らせたり、他の様々なキャラクターが学習課題、探求課題をキャラクター同士で話し合ったりと、様々な工夫をしています。その形を工夫することで、少しでも主体的・対話的で深い学びへの動機付けをしようという気持ちがあることがわかりました。育鵬社は、章末の振り返りで、作業的な学習から時代の特色を考えさせ話し合うといった授業の工夫が見られたと思います。議論するとか対話するというのを、とても深めようという努力を育鵬社はしていると思いました。その他の教科書でも、各章のまとめとして、新聞作成をさせたり、表や関係図を作らせたりする。あるいは、チャートを作らせるというようなページが設けられています。作業的な学習に終始するかたちが多いので、作業にどうしてもとられすぎると、自ら考えるという場としては、もの足りないのかなと思って見させていただきました。

増田委員 話の方向が変わりますが、最近は何のGIGAスクール構想など、学校におけるICT機器の活用による授業も重要になってきていると思いますが、社会科はどうですか。

西山教育長 事務局から何かありますか。

黒川指導主事 前はデジタル教科書を発行していた会社は3社のみでしたが、今回は全ての教科書会社でデジタル教科書を作成しております。学び舎につきましては、教育長から話がありましたように県の資料を借りたいと思います。私からは以上でございます。

西山教育長 今までとの違いは、授業で教師がデジタル教科書を利用するケースがほとんどだったと思いますが、今度のGIGAスクール構想になりますと、生徒一人一人が端末を操作する可能性がでてきます。そうなりますと、学習者用のデジタル教科書の充実も必要となってきます。子供たちの学びを保障する上では、デジタル教科書の存在は重要な要素となってきていると思っています。今、各社とも作っていますが、昔から作っている会社が3社あり、その会社は一步進んでいる部分があると思います。他社はこれから追いかけてくるのではと感じています。ただ、デジタル教科書については、著作権の問題等、色々あると思いますが、会社によって、パスワードを配布することで更新がきく形態をとったりと色々やっているようでございます。子供たちが自分で操作できるデジタル教科書は非常に有効なツールですし、色々な会社が追いかけてくるだろうと感じています。GIGAスクールや新しい選挙権の問題、アクティブ・ラーニングも含めて、歴史の教科書は非常に範囲が広いので、皆さんは色々大変だったと思っています。色々な意見が出てきましたので、それらを踏まえて検討していただければと思います。

他にはありますでしょうか。よろしいですか。なければ公民に移りたいと思います。

それでは、公民に移ります。公民の教科書は6社です。内容別に見ると「私たちと現代社会」では自由社が、「私たちと経済」では帝国書院が、「私たちと政治」では、東京書籍、教育出版、日本文教が、「私たちと国際社会の諸課題」では自由社が最も多くのページを使っていたと思っています。

公民的分野の目標としては、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり、解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な、公民としての資質・能力の基礎を育成することが、公民的分野の目標となっています。社会がグローバル化していますので、その中で自分がどのように生きていくかを考えて、平和で民主的な国家の形成者になるという意識をきちんと育てるといことが、目標になるということです。

各教科書とも、多くの事例を挙げて、子供たちの知識・理解を深める工夫が見られたと思っています。知識・理解を学習することはとても大事ですが、先ほどから言っています社会の形成者になることは、その知識・理解を基に自分として主体的にどう生きていくかということが大事なことで、その視点でも考えなくてはいけないかと思っています。これらについて数的な部分では事務局から意見をもらいたいと思います。それではいかがですか。

黒川指導主事 例えば、「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」において、具体的事例を最も多く取り上げているのは日本文教で44ページありました。次に多かったのが教育出版で43ページです。また、「民主政治と政治参加」では、東京書籍が51ページ、次いで教育出版が45ページでした。それぞれの教科書会社によって、事例を多く取り上げる会社と少ない会社とではページ数に大きなバラつきがありました。以上でございます。

西山教育長 先ほども申し上げましたがそれぞれ特徴があります。例えば自由社は「私たちと国際社会の諸課題」では、非常に多くのページを使っています。ただいま事務局から指摘があったように、それぞれページ数にも差が出ています。それは、具体的な事例によって、少し違うというのが特徴で、その辺も見ていただいたと思っていますが、かなりバラつきがあるというのが、実際だと思います。公民つきましては、知識・理解の部分では、子供たちにとって、今まで小学校で勉強してこなかった用語や制度と、非常に理解することが難しいと思われる言葉がたくさん出てきました。言葉そのものを覚えなさいというよりも、子供にとっては、身近な事例を重ね合わせながら、また、実際のものをみせながら勉強していくことが、とても重要なことだろうと思っています。それがひとつのポイントかと思っています。ですから、どこのページに力を入れるかということとは、その教科書会社の思いが入ってくるかと思っています。

増田委員 今、身近な事例や具体的な事例というお話がありましたけれど、多くの教科書が新聞記事載せているのが印象的でした。これはやはりお話のありました、公民の目標の多様性、広い視野に結びつくということを考えていると思ったところです。

飯野委員 確かに、新聞記事載せている教科書は多いと思いますが、最近はインターネットやスマートフォンの普及により、新聞を取っていない家庭が多くなっています。新聞を読まない子供も増え、子供の文字離れも心配されています。教科書で取り上げられる新聞記事から様々な考えや意見を読み取らせることはよいことだと思います。

塚本委員 東京書籍、日本文教、育鵬社の教科書は、随所に新聞記事が掲載されていました。やはり掲載数の少ない教科書や新聞社に偏りがある教科書は気になりました。

西山教育長 多少その部分とは離れるかもしれませんが、人権教育について、日本国憲法の学習を中心に扱っているところ、または人権教育と日本国憲法をくっつけながら扱っているという教科書会社も多かったと思いますが、事務局としては何か意見はありますか。

黒川指導主事 日本国憲法の取扱いについて、簡単にご説明させていただきます。

東京書籍は、「ちがいのちがい」という導入のコーナーを設定し、生徒にまず考えさせることで、課題意識を高めています。

次に教育出版ですが、基本的人権の尊重について、遺伝子組み換えや人工知能がもたらす新しい人権課題を交えながら学習を進めています。帝国書院と日本文教、自由社、

育鵬社は、人権の歴史的な背景から学習を進めていますが、その後の展開については各社で違いが見られます。継続的に取り扱う教科書や、繰り返し人権についてのコラムを取り扱う教科書がございました。以上でございます。

渡邊委員 中学校の公民において、人権学習や基本的人権を尊重する態度を育てることは大変重要なことだと思います。先程の歴史もそうでしたが、基礎・基本の定着という観点ではどうなのでしょう。

西山教育長 事務局からお願いします。

黒川指導主事 今、お話のありました基礎・基本についてですが、やはり、教科書会社によって違いが見られます。東京書籍、教育出版、帝国書院、育鵬社がしっかりと振り返りのページを設け、問題を解きながら復習させています。継続することで、基礎・基本や知識・理解の定着につながると考えます。以上です。

飯野委員 公民の学習の重点に、やはり日本国憲法が挙げられると思います。基本的人権の尊重もそうですが、国民主権や平和主義を含めて、すべての基本的原則となっていることから、しっかりと憲法については学んだほうが良いと思います。日本国憲法、人権に関わる様々な法令の条文は、全て教科書の巻末に資料として載せられていました。

西山教育長 資料的には、どの教科書も、それぞれの巻末にきちんと載っていると思いましたが。最初のお話にあった新聞記事ですが、きちんと学習したことが具体例に分かりやすく結びつけることができ、知識としてきちんと身に付けられるように、各会社が力を入れていると思えました。事務局からは何かありますか。

黒川指導主事 はい。日本国憲法についてですが、本文中での取扱いがそれぞれ教科書会社によって違いがあるのですが、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教は、日本国憲法と大日本帝国憲法の違いが、ひと目めでわかるように本文中で表にまとめて、左右で対比しながら確認できる点が非常にわかりやすいと思えました。

塚本委員 アクティブ・ラーニングへの配慮という観点から見ますと、東京書籍では、「探求のステップ」のコーナーで思考を深める様々な方法を紹介しています。教育出版、日本文教では、シンキングツールであるフィッシュボーンチャートの利用について紹介しており、とても工夫がされていると思えました。

増田委員 帝国書院は、マンションの騒音問題を解決する課題からロールプレイングの活用法を紹介し、自由社は、「アクティブに深めよう」というコーナーで記述しながら思考を深め、育鵬社ではランキングシートにより主体的に思考する場を工夫しています。いずれの教科書も、今回の学習指導要領のポイントである、主体的、対話的で深い学びを意識した工夫がみられました。

西山教育長 かつての教科書にもありました「調べてみよう」とか「やってみよう」などは今でも残ってはいますが、与えられた課題設定ではなく、子供たちが自分で発見していく課題発見型の学習のほうが、子供たちの思考力、判断力、表現力を育てるには重要なかなと思えました。写真や統計資料、読み物資料が豊富で、しかも体験的な活動が取り入れられて、色々な角度から子供たちの思考力を刺激する教科書がいいのではと思えました。

渡邊委員 東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教の教科書は、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れていてよいと思えました。

飯野委員 政党の扱いで、新聞記事や写真などが自民党を中心とした与党に偏っていると感じました。安倍総理を数多く掲載している教科書がとても多くみられます。

党首の写真だけでなく、各政党名、公約、議席数まで掲載していたのは東京書籍でした。比較しやすくよい資料だと感じました。

塚本委員 自由社は、戦後の主な総理大臣を紹介していましたが、自民党だけなのは、疑問に思います。

西山教育長 そういうところも少し気をつけなければいけないところですか。それでは次に地図帳に移りたいと思います。増田委員さんから何か意見があればお願いします。

増田委員 東京書籍の地図が、タイトルに縮尺、スケールとともに、その地域の特徴的な

事柄を注目したい記号として提示している点が、とても使いやすいと思いました。

塚本委員 私も東京書籍の地図が、ICT活用マークを設け、ネットに接続して地図をダウンロードしたり、情報ページにリンクしたりできる点が工夫されていると思いました。

飯野委員 私は帝国書院の地図が使いやすいと思います。

写真資料が工夫されており、地理学習に欠かせない視覚による定着が図られていると思いました。

渡邊委員 私も帝国書院の地図が、思い切った大きさがよいと感じました。地図本来の役目に則っていると思います。

西山教育長 私も見せていただいて、使い慣れているところもあると思いますが、帝国書院の地図が使いやすいと思いました。「地図活用」の「問い」が多く設定されていて、社会的な見方・考え方を身に付けられる点や、大判化され、他州・他地方との関連が捉えやすい点がとても良いと感じました。

事務局から何か補うことはありますか。

黒川指導主事 地図につきましては、全体を見たときに、写真が非常に多いのが東京書籍の特徴であり、図が多いのが帝国書院の特徴と感じました。

また、東京書籍の地図では、地理的分野だけでなく、歴史や公民の教科書との連携を意識して、資料のタイトルの後に、歴史マークや公民マークを付すことで、資料の応用分野をわかりやすく示していました。

次に、帝国書院の地図ですが、気候と農業、産業と地形、自然や人口など、比較を通して地域の特色が考察できるように工夫がされています。また、「地図活用」のコーナーを要所に配置することで、「社会的な見方・考え方」をより深められる工夫がございました。以上でございます。

西山教育長 次は数学の教科書について協議します。渡邊委員さんからお願いします。

渡邊委員 東京書籍は、話し合い活動がしやすい構成になっている点や、使い慣れており、学習しやすい点が良いと感じました。

飯野委員 私は東京書籍の教科書の良い点は、教科書の使い方やノートの作り方など、ガイド機能も備えており、自主学習の促進にも良いと思います。

西山教育長 私も東京書籍の教科書が工夫されていると感じました。

主体的・対話的で深い学びを実現するために非常に丁寧な構成となっており、思考を深める力が身につくよう工夫されていると思いました。今回の学習指導要領は見方や考え方に重きを置いていますが、東京書籍の教科書は、数学的な見方や考え方を育てたい、そういったことが大事だということが、すべての教科において感じられました。学習内容の配列にも工夫がみられ、例えば素因数分解の扱いが一番最初にきていて、小学校との接続を気にして、しかも数のなり立ちでつなげていこうという公理的な考え方にたっている配列がされています。関数についても、関数の良さを感じられるような題材で展開がされていて、工夫がされていると思いました。完成度の良さでいえば教育出版もよかったですと感じました。他にはいかがでしょうか。

塚本委員 啓林館の教科書は、指導内容の流れに無理がなく、子供たちの立場になって作られていると感じました。また、家庭学習に使用できる動画等のQRコードが各ページにある点も良いと思います。

増田委員 日本文教の教科書ですが、巻頭にある「数学の学習を始めよう！」あるいは、「数学的な見方・考え方を身につけよう！」では、数学的な活動を通して、授業への取り組み方を学ぶことができると感じました。

飯野委員 日本文教の教科書ですが、良かったのは、基礎・基本の定着のために「間違えやすい問題」というコーナーが設けられている点です。そして、「基本の問題」や「補充問題」で、一人一人の理解に合わせた学習がサポートできていると思います。

西山教育長 事務局から何かあれば補足をお願いします。

黒川指導主事 今、お話しがありました東京書籍の教科書について申し上げます。

「学びをひろげよう」では、数学と実社会や職業とのつながりを伝え、実際に体験することで数学の有用性を実感できるよう工夫されておりました。

また、「教科関連マーク」が表示されておりまして、教科横断的な課題に取り組む際に活用しやすい工夫があります。

次に、啓林館について申し上げます。学校での授業での学びを想定しまして、表紙から始まる「みんなで学ぼう編」と、生徒の興味・関心に応じ、さらに力を伸ばす学びを想定しまして、裏表紙から始まる「自分から学ぼう編」の2編で構成されている点の特徴的だと感じました。

続きまして、日本文教の教科書について申し上げます。生徒キャラクターの言葉で、学ぶ意欲を引き出す工夫がされています。章のとびらで学習への動機付けを行いまして、章末の「数学のたんけん」、巻末の「数学を仕事に生かす」、「暮らしと数学」、「数学研究室」といったコーナーでは、生徒の興味をさらに高める工夫がみられました。以上でございます。

西山教育長 他にはございますか。よろしいですか。それでは、続いて理科について協議を行います。

飯野委員 東京書籍の教科書で良かった点は、学習内容の整理や応用をする場面があり、重要語句の学習、必要事項の確認がしやすい工夫がありました。

渡邊委員 東京書籍は、指導時期や内容の関連性を踏まえた単元配列になっていて、生徒の科学的概念形成に配慮されていると感じました。

西山教育長 私も東京書籍の教科書が少し良かったと感じました。

テーマの異なるコラムを複数配置していて、学びが教室の外の世界へと広がっていく。日本の持つ科学技術との関連に気付かせることで、主体的に学習する態度を育成しようとする工夫をしていたと感じています。

また、「巻末資料」に、「理科室の使い方」や「主な薬品の取り扱い注意」を設けてありまして、生徒が安全に実験を行えるように配慮がされていたと思います。

塚本委員 学校図書の教科書が、実験・観察での探求の過程に考え方の具体的な例が示されていて、実験・観察の目的や何を明らかにしたいかが、生徒にとってとてもわかりやすいと思いました。

増田委員 教育出版の教科書ですが、課題や結論が明確にされている。また、実験観察の手順や操作方法について明確にされていました。特に図や写真を用いて丁寧に示されていて、これは生徒が考える上で必要な手助けを行う工夫がされているのではないかなという気がしました。

飯野委員 私も教育出版の教科書で良かった点ですが、巻末に、1年生は「生物カード」、2年生では「原子モデルカード」、3年生では「星座早見」がついており、生徒が視覚的に学習できる工夫がされていました。

西山教育長 事務局から何かあればお願いします。

黒川指導主事 今、話題に出ました教科書会社について申し上げます。

東京書籍の教科書についてですが、観察・実験において、「結果の見方」と「考察のポイント」によりまして、結果・考察の視点を示して、生徒の思考をサポートしています。

また、巻頭にマンガがでておりまして、各節ごとのフローチャートにより、探求の進め方を示し、各節の結論を生徒自身の言葉でまとめさせる活動で、思考力や表現力の育成を図る工夫がみられます。

次に、学校図書について申し上げます。巻頭の「理科のトリセツ」というコーナーの中で、理科の学習の進め方と教科書の使い方を説明することで、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫がみられます。

次に、教育出版について申し上げます。

「ハローサイエンス」のコーナーにおいて、日常生活との関わりを紹介しており、理科の実用性を実感できるよう工夫がされています。また、社会的な問題にも触れ、生徒の思考を深める題材の工夫がありました。以上でございます。

西山教育長 ありがとうございます。東京書籍は、教科書のサイズが少し大きめでした。これについて、専門委員さんの話の中では、大きいことは苦にならないという話がありました。これもひとつ参考意見だと思いました。実験するときには邪魔にならないよう

に教科書は下に置くので、版が大きいことは見やすいことだという意見がありました。また面白かったのは、あまりくわしく書きすぎているのがいいという意見がありました。不親切なところがかえって先生の出番があつていいのだという意見がありました。この意見は面白かったと思っています。よろしいでしょうか。それでは音楽の一般について協議いたします。

渡邊委員 教育出版は資料がとても充実していて、歌唱のイメージに合わせた情景写真や絵、鑑賞教材に合わせた楽器、伝統芸能の解説や写真等に工夫があつたと思います。

塚本委員 さらに教育出版の教科書は、「歌うための準備」「言葉の発音について」「変声と混声合唱」で、必要な基礎的事項に関するアドバイスが示され、技能の習得がしやすい工夫がたくさんありました。

増田委員 教育芸術社の教科書ですが、表現と鑑賞のバランスが非常によく、特に学習のねらいや活動の手順が明確になっていて、また題材が計画的発展的に配列されていて、年間の学習内容に見通しを持たせる工夫がされていると感じました。

飯野委員 教育芸術社は、現代の音楽文化の情報や電子音楽等、興味の湧く見出しが資料として出ており、生徒の学習意欲をひきだす工夫がされております。

西山教育長 教育芸術社の教科書は、写真もほどよくあり、色使いも落ち着いた感じですよと思いました。また、「深めよう音楽」というコーナーがあり、発展的な学習にも適していると感じました。教科書は今、書き込むところが増えておりまして、どう演奏してよいかを言葉で表現する等の工夫も良かったと思つて見させていただきました。事務局はいかがですか。

黒川指導主事 教育出版の教科書について申し上げます。

「学びのユニット」で年間の学習内容を関連付けて示している点に工夫が見られます。

また、様々な音楽について比較して学習し、共通性と固有性を考え、音楽文化の理解を深める工夫もみられました。

次に、教育芸術社の教科書についてですが、「深めよう！音楽」のコーナーでは、ワークシートの例やグループ活動の例を示し、生徒が表現に対して自分の思いや意図を持ったり、音楽や演奏の良さを味わいながら聞いたりできるよう工夫がみられます。

また、教材ごとに、ページの左端に「学習目標」と「音楽を形作っている要素」が表示され、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができる、そういった工夫もみられました。以上でございます。

西山教育長 よろしいですか。それでは、音楽の器楽について協議を行います。

塚本委員 教育出版の教科書は、「合わせて演奏しよう」という項目がありまして、自分の思いや意図を他者との協働で生かし、表現を工夫できるように配慮がされていたと思います。

増田委員 付け加えなのですが、教育出版の教科書で非常にいいなと思つたところは、各楽器の構造や各部の名称が写真や図、イラストで示され、各楽器の奏法については複数の角度から写真を掲載したうえで詳しく説明している点がよく感じました。

飯野委員 私は教育芸術社の教科書が良かったと思います。

歌唱・創作・鑑賞との関連にも配慮がされていまして、工夫がされているなと思いました。

塚本委員 私も教育芸術社は、運指や演奏中の手元をアップにしてあり、とても分かりやすいと思いました。また、リコーダーがソプラノとアルトのどちらでも学習できるように楽譜掲載がされている点も良かったと思います。

西山教育長 私も教育芸術社の教科書が良かったと思います。

各楽器の基礎の習得から、多彩な組み合わせによるアンサンブル、技能に応じた応用まで、バランスよく取り上げていると感じました。専門委員さんもおっしゃっていましたが、各界の著名人からのメッセージや、同世代の音楽活動の様子を掲載し、生徒が意識的に生活や社会の中の音や音楽との関わりに目を向けて考えるという工夫がされていると思いました。この部分は、専門委員さんも良かったという意見が多かったと思いました。事務局から何か補うことがあればお願いします。

黒川指導主事 教育出版の教科書についてですが、「何が同じで、何が違う？」というコーナーを設けておまして、音の特徴と楽器の構造や奏法との関係について、生徒自身が気付いたことを書き込めるような工夫がみられます。

次に、教育芸術社の教科書についてですが、古楽器に興味を湧く教材が多く取り上げられ、生徒が主体的に学習に取り組める構成になっています。

また、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすために簡単な曲から練習できるよう配慮がされておりまして。以上でございます。

西山教育長 専門委員さんがおっしゃっていたことを付け加えますと、器楽と一般は分かんないほうがいいといていたような気がします。同じコンセプトでできている教科書のほうが使いやすいので、同じ会社のほうがやりやすいですという意見も言っていました。そういうことも参考にさせていただければと思います。よろしいですか。それでは、美術の教科書について協議を行いたいと思います。

増田委員 開隆堂ですが、生徒の多様な作品が多く掲載されています。また、学びの資料で、用具の種類や使い方、それから技法や制作手順が説明されていて、子供にとってわかりやすいのかなと思いました。

渡邊委員 私も、開隆堂は実際に美術が活用されているところが例示されていて、学んだことを将来につなげるビジョンがもてる点が良いと思いました。

西山教育長 私も開隆堂の教科書がいいなと思いました。どこの会社も同じなのですが、開隆堂もサイズが大きめでした。専門委員さんの話の中にもありましたが、大きくても邪魔にならないと言っていました。各題材の導入や作品解説等、生徒の制作意欲を湧くような工夫がされていると感じました。また、資料集がなくても非常に豊富で扱いやすいという話を専門委員さんがしていました。表現の学習と鑑賞の学習との関連を重視している点が私はいいと思いました。どうしても表現するという点が中心になってしまって、鑑賞するところが手薄になる部分もありますので、資料を豊富にして両方の関連を非常に重視しているところがいいと思いました。安全に関する注意や他教科との関わりという点も評価できると見ていただきました。

塚本委員 光村図書の教科書ですが、実際の生徒の制作過程やアイデアスケッチ、写真を用いて段階的に示している点が良いと思って見ていました。

飯野委員 光村図書の教科書ですが、随所にキャラクターを使いながら、「うつくしい！」「美術ってなんだろう？」「美術で学ぶこと」等の資料によって、美術を学ぶ意義を考えさせたり、生徒の学習意欲を高めたりする工夫がされていると思います。

渡邊委員 日本文教についてですが、原寸や部分拡大、見開きの図版を掲載することで、生徒にわかりやすく、同時に学習意欲を高める工夫がされているのではないかと思います。

西山教育長 美術については、開隆堂、光村図書、日本文教の3社ですが、これについて事務局で何かあればお願いします。

黒川指導主事 開隆堂の教科書について申し上げます。各題材の導入や、作品解説、作者のコメントから、造形的な視点を理解できるよう、文章の工夫がされています。また、知識や理論の学習に偏らないように、各領域の扉ページでは、学習を通して学ぶ内容や、学習の魅力などを伝える工夫がありました。

次に、光村図書の教科書について申し上げます。題材名の下に二つの領域別の目標を簡潔に示し、安全に関する注意や資料、他教科とのつながりについて3項目のマークで分類することで、生徒にとって分かりやすい工夫がされておりまして。

次に日本文教の教科書について申し上げます。美術を通して自分らしさを見つけ、思いを形にする大切さや楽しさを「3年間の成長地図」というコーナーで紹介する工夫をされておりまして。以上でございます。

西山教育長 ありがとうございます。それでは次に、保健の教科書について協議を行いたいと思います。

飯野委員 私は、東京書籍の教科書が良かったと思います。口絵が充実していることも良かったですが、「教科書の使い方」「保健体育の学習方法」が示されており、生徒がより

よく学習できるような工夫がされているなどと思いました。

塚本委員 大修館の教科書は、特集資料が章末にあり、学んだことを生活に生かしやすいと感じました。また、図や資料がわかりやすい点も工夫されていると思います。

増田委員 私も大修館の教科書に意見を足しますが、生活に関連した情報を提供する「コラム」「事例」や、実生活に生かして考える課題として「体育の窓」「保健の窓」を通して、生徒の実践力を養う工夫がされていると思います。

渡邊委員 学研教育の教科書は、巻末の資料が豊富で、発展的な学習に適していると思いました。また、補足説明や資料が充実していてよいと思いました。

塚本委員 学研教育もいいなと感じたのですが、絵や写真を使い、視覚的にもわかりやすく使いやすかったです。また、問いが中学生に対して適切だと感じました。

西山教育長 私も学研教育の教科書は良かったと思いました。学習内容を活用する活動を通じて、「今・未来」を考える課題がありまして、自分の未来やキャリアについて生徒が考えるよう工夫がされていたと思っています。また、「保健体育と情報」や「情報サプリー」のコーナーを通して、健康・安全について科学的に理解し、生徒自身が健康の保持増進に生かすことができる工夫がされていたかと思っています。専門委員さんは、実生活につながる工夫が随分あるとおっしゃっていました。事務局から何かあればお願いします。

黒川指導主事 東京書籍の教科書について申し上げます。「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」という学びの筋道が見える構成になっており、各単元に登場するキャラクターが学習のヒントを提示する工夫がされておりました。

次に、大修館について申し上げます。「特集資料」や「クローズアップ」のコーナーを設けておりまして、生徒が深く学習できるような工夫がされておりました。

次に、学研教育について申し上げます。巻頭で、「ディスカッション」「ブレインストーミング」「実習・実験」「調査方法」など、様々な学習の進め方がイラスト付きで解説されておりまして、生徒の主体的な学びを促す工夫がされておりました。

また、4つのステップの学習の流れに沿って、学習内容の要素を見やすく構成している点も工夫が見られました。以上でございます。

西山教育長 よろしいですか。続いて、技術の教科書について協議を行います。

塚本委員 東京書籍の教科書が、解説用の写真が豊富でとても見やすく、生徒にとって学習しやすい教科書だと感じました。

飯野委員 東京書籍の教科書の良い点は、多様なマークを使い、学習のポイントや関連するページ、カリキュラムマネジメントが分かるようになっており、ページ下に「技術の工夫」として豆知識のコーナーが配置されている点が良いと思いました。

渡邊委員 教育図書の教科書は、基礎的な知識や技術をまとめた「技術ハンドブック」が別冊として付属していることで生徒が学習しやすいのではと思いました。

増田委員 開隆堂の教科書ですが、見開き2ページに、実際の生活や社会で技術が活用されている様子の写真やイラストが掲載されていて、生活や社会との関わりに生徒が気づくような工夫がなされているかと思いました。

飯野委員 開隆堂の教科書の良い点は、見開きの右上に技術に関する用語を写真とともに小さく載せてあり、ほかの教科書にはないものだと思います。

西山教育長 開隆堂の教科書の良かったところは、導入部分で具体的な製品を示し、技術の見方・考え方を解説して課題を提示することで、生徒の主体的な学びを促しているところです。また、科学的な原理と仕組みをおさえた解説や深めた実験を配置し、生徒の理解がより深まるように工夫がされていたと思います。専門委員さんの話を聞きますと、各教科書会社がとてもよく配置をしていますが、子供たちにとっては、見やすいことが大事だということをやっていたのが、記憶に残っています。事務局から何かあればお願いします。

黒川指導主事 東京書籍の教科書について申し上げます。全編を通じて、問題の発見と課題の設定を設け、生徒が主体的に問題を見出し、柔軟に問題解決に取り組めるような工夫がされておりました。

次に、教育図書について申し上げます。各内容とも、第1章で基本的な知識と技術の工夫について学び、第2章で設計や計画について具体的な制作例をもとに学習する構成になっておりました。

次に、開隆堂について申し上げます。各内容とも、各界で活躍する人や企業を取り上げたり、特色ある活動の地域を紹介したりして、身近な技術について生徒が興味を持てるように工夫がされておりました。

また、社会で行われている企業のものづくりの順序と学習の順序とを関連付け、PDCAサイクルとともに示し、まとめでは、キーワードで学習を振り返ることができるように工夫がされております。以上でございます。

西山教育長 続いて、家庭科の教科書について協議を行います。

塚本委員 東京書籍の教科書は、補足説明や資料が充実しており使いやすいと思います。表情豊かな写真が随所に配置され、人との関わりの中で生きていくことの大切さが伝わってくる点も良いと思います。

渡邊委員 私も東京書籍の教科書が、実習例で「私のオリジナル」として工夫例をあげ、生徒の創造性を引き出すよう工夫がされていて良かったと思います。

西山教育長 家庭科の領域ですと、A（家族・家庭生活）、B（衣食住の生活）、C（消費生活・環境）の順番になると思うのですが、東京書籍だけが、B（衣食住の生活）から始まっていました。中学校1年生では、この内容の順が一番分かりやすいと思いました。また、必ず身につけさせたい基礎的な技能を「いつも確かめよう」にまとめており、基礎的な技能を取得できる工夫もされていて、子供たちの思考の流れや発達段階を意識した構成になっていたと感じました。

飯野委員 私は、教育図書の教科書が良かったと思います。実習題材は、実習の流れが分かりやすく進めやすいような手順の工夫があり、実践的・体験的な活動を通して知識・技能が身に付けられるように工夫がされていると思いました。

増田委員 教育図書の教科書の付け加えですが、実物大の写真や多様なデジタルコンテンツ、献立作成の学習で使用できる食品シールの付録など、生徒の学習効果を高める資料の工夫がされていたのかなと思います。

渡邊委員 開隆堂の教科書についてですが、身近な生活との結びつきが分かりやすく示してあり、生徒が主体的に学べる教科書だと感じました。また、挿絵や写真が豊富で見やすい点も良かったと思います。

西山教育長 技術科と家庭科両方の説明をしましたが、専門委員の中で、技術科と家庭科とを別々の会社で選ぶことでもいいのかという話もあったのですが、技術代表と家庭科代表の専門委員が、出来れば同じ会社がいいと2人とも話していたことを思い出しました。事務局から何かあればお願いします。

黒川指導主事 まずは、東京書籍の教科書について申し上げます。学習を深めるための活動として、調査活動や比較実験等の課題を設け、家庭生活を見つめ、よりよい生活を創造しようとする態度を養うための工夫がございました。また、編ごとに「学習のまとめ」「大切な用語」一覧が掲載され、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように工夫がされています。

次に、教育図書の教科書について申し上げます。実習例の注意事項に安全・衛生マークを付し、アレルギー物質を含む食材の代替食品例を示している点に工夫があります。また、実習の工夫例だけでなく、失敗例も併せて掲載している点が特徴であると感じました。

次に、開隆堂について申し上げます。デジタルコンテンツにおける基礎縫いの動画では、左利きの生徒にも対応する動画も用意しておりまして、学習効果を高める資料の工夫がされているところが特徴でございます。以上でございます。

西山教育長 次に外国語の教科書について協議を行います。

増田委員 東京書籍の教科書ですが、ICT活用が充実し、映像や音声が授業や家庭学習で使用できる点が良いと思いました。また、小学校で導入されており、円滑な接続が期待できるのも良い点だと思います。

渡邊委員 私も東京書籍の教科書は、各 Unit の後に、4 技能 5 領域を統合して行う Unit Activity があり、身近な話題について生徒同士が伝え合う活動が設定されている点が良いと思いました。

西山教育長 私も同様の意見ですが、各単元の最初のページには活動の目標が示され、単元末の Unit Activity の CHECK で振り返る形となっているので、生徒に学習内容が確実に身に付く工夫がされていると思いました。

また、CAN-DO リストがついていて、領域別の目標が示され、単元との関連が分かるように工夫されている点も良いと感じました。

塚本委員 開隆堂の教科書は、小学校の学習内容を意図的・計画的に活用させているところがいいと思いますし、Scenes から Retell まで深めるところがいいと思います。

飯野委員 私も開隆堂の教科書が良いと思います。生徒が英語を多く活用できる構成になっていて、新出表現がマンガ形式で示され、新たに学ぶ文法がどんな場面で使われるのか視覚的に学ぶことができる点が工夫されていると思います。

増田委員 三省堂では、「理想のロボット」や「修学旅行のプラン」など、生徒が興味・関心を持って取り組みやすい内容について発表・議論する活動が設定されている点が良いと感じました。

西山教育長 専門委員が、伝え合ったり表現したりすることを大事にしている教科書を選びたいという話をしていたのが印象に残りました。Retell なんてとてもいいのだといっている専門委員の話が記憶に残っています。事務局から何かあればお願いします。

黒川指導主事 東京書籍の教科書について申し上げます。Preview で単元の場面などを想起し、単元後に配置されている Stage Activity に向け Mini Activity、Unit Activity で学習を積み上げていく構成により、生徒に学習内容が確実に定着するよう工夫がされておりました。

また、1 年生の早期に「話す」「聞く」活動を通して、小学校で扱った表現を取り上げ、習熟を図っています。そう言ったところも特徴です。

続きまして、開隆堂について申し上げます。

各単元の最初のページの Goal という項目で、単元の目標が示され、各目標が単元内のどの目標と関連しているかマークで示されています。これにより、生徒が見通しをもって主体的に学ぶことが可能と考えます。

次に、三省堂について申し上げます。目的や場面・状況に応じて相手意識を持たせ、互いを認め合いながら表現できる工夫がされています。また、異文化理解や伝統文化等の題材を通して SDGs 等の実現に向け、様々な課題に対応できるよう工夫がございました。以上でございます。

西山教育長 最後に特別の教科道徳について協議を行います。

渡邊委員 東京書籍の教科書は、学期ごとの振り返りシートがあるので評価にもつなげやすいと思います。それから、グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングが「アクション」として配置されている点も工夫があると思いました。

飯野委員 私も東京書籍の教科書が良いと思いました。

巻末に「心情円」がついており、可視化による心の動きを生徒がより明確に捉ええることができると思います。また、厚さも程よく管理の面でも良いと思います。

塚本委員 日本文教の教科書ですが、色使いがよく、道徳ノートが付属となっているため生徒が主体的に学習できるよう工夫されていると感じました。

増田委員 学研教育の教科書ですが、生徒が興味を持ち、身近で議論を深めやすい題材が多く掲載されていると思います。また、現代的な課題について議論する手立てが示され「考え、議論する道徳」これを重視した学習活動が展開されるように工夫されていると思います。この点が良かったと思います。

塚本委員 付け加えになりますが、学研教育の教科書は、複数の教材を関連付けて多面的・多角的に考える工夫が良いと思いました。

西山教育長 学研教育の教科書ですが、「クローズアップ」を中心に道徳での学習を日常生活に生かし、道徳性の育成につながるように工夫されていると思いました。

また、巻末の「学びの記録」で、自分の成長を振り返って、課題や目標を生徒自身が見つけられるように配慮されている点が良いと思いました。道徳は、評価することが難しく、以前は、4段階で子供が自己評価し、最終的に先生が評価するという形をとっていましたが、私は道徳性を数字で評価することは問題があると考えていましたので、今回、数字で評価をすることが減り、その代わりに、記述式で評価する形が増えてきて良かったと感じています。また、学研教育の教科書は、主題名が最初に書いていないので、このような内容の話しだろう、と子供が頭から思わないでいられるところがいいと感じました。事務局で何かあればお願いします。

黒川指導主事 東京書籍の教科書について申し上げます。1年生は郷土の学習、2年生は国の学習、3年生は国際理解の学習を重点項目に設定して、考える範囲が段階的に広がっていくように配慮されております。

次に、日本文教の教科書について申し上げます。道徳ノートが別冊になっているのが特徴になっております。多様な話し合いに対応させるため、友達の見解と自分の意見を左右で対比できるように工夫されています。

次に、学研教育の教科書について申し上げます。同じ内容項目を扱う教材につきましては、内容の深まりや視野の広がりといった学年ごとの工夫がされており、生徒の生活実態や発達の段階が配慮されておりました。また、生徒が特定の価値観に縛られず、主体的に問題意識をもち、柔軟に考えることができるように、教材の冒頭に主題名を記載しない工夫がされております。以上でございます。

西山教育長 長い時間協議を進めてまいりましたが、協議が終了しました。第23採択地区協議会に提出する開票結果、最終的な意見のまとめの場は、先ほど協議した結果、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、非公開で行うと決定いたしましたので、よろしくをお願いします。

それでは、これより非公開の会議といたしますので、関係者以外の方は退席をお願いいたします。

(休憩後、再開)

西山教育長 投票に移りますので、事務局は投票用紙の配布をしてください。教育委員は、配布された投票用紙に記入の上、投票箱への投票をお願いします。

(投票用紙の回収)

令和3年度使用中学校用教科用図書採択案について協議した。

西山教育長の閉会宣言で第4回臨時会は閉会となった。

閉 議 午後5時11分